



五福っ子



令和7年9月3日発行 No.10

学習を 充実させるために

2学期が始まって1週間。どの学年も少しずつ学習が軌道に乗ってきました。

1学期末・夏休みの個人懇談では、保護者の方々から「学習が難しくなってきた」「頑張っているけれど、成果が上がらない」などの悩みも聞かれたようです。

そこで、2学期からの『学力アップ』『基礎基本の定着』を目指して、学校全体で取り組んでいくことを2つご紹介します。

1 『すなおな聞き方あいうえお』

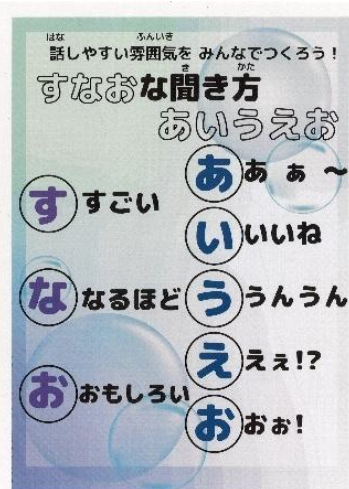
「先生の話をよく聞きなさいよ。」私が子どものころ、毎日のように母が言っていました。

「聞く」ということは、とても大切な力です。相手の話や指示を正確に聞き取ることができれば、聞き間違いや誤解が減ります。そうすると、

- 学習を正しく理解できる。
- 素早く行動に移すことができる。
- 対人関係のトラブルが減る。

というように、メリットはとても大きいです。

『すなおな聞き方あいうえお』は、授業中に安心して話合いができる雰囲気をつくり、学びが深まるようにするための聞き方・反応の仕方を表したものです。勇気を出して発言したときに、「なるほど」「いいね」という反応が返ってくると、ほっとしますね。次も発言しよう、という気持ちになるでしょう。また、話の内容をよく聞き取っていないと、反応することはできません。反応できるということは、相手の話を集中して聞くことができる、ということです。聞く力を高めることにもつながります。



2 ノートチャレンジ

普段授業中にノートをきちんと書いておくと、宿題をされていて分からなくなったときに見返して思い出したり、復習したり、学習の足あととして自分の成長を振り返ったりすることができます。ノートを読み直すことは、学習を確実に身に付けることにつながります。

そこで、ノートチャレンジでは、学年に応じたチェックポイントを設けて、担任以外の先生にノートを見てもらいます。9月は、国語のノートです。合格したノートにはシールが貼られます。特に優れたノートは、掲示をして、皆さんに紹介します。友達のノートで「まとめが分かりやすい」「大事なところに注目しやすく囲んである」「適度な余白があって読みやすい」など、自分のノートに生かして、学力アップにつなげていきましょう。